女子青年界



西伯利亞に於ける避難民の光景

第十五巻 十月號



省 御買上八回
殿下

於博覽會共進會 金、銀、銅牌廿餘回受賞

意匠、技巧優良
價格低廉
信用安全
取引敏速

永年外國人向にて苦心の點は品物に現はれて居る筈です態々横濱迄御用命の甲斐あると確信致します

横濱市辨天通二丁目拾貳番地
辨天商會



W. M. Vories and Company, Arch

Hachiman, Omi
and
National Y. M. C. A. Building,
Omote Sarugakucho, Kanda, To

築 設計監督 ヴォーリズ合名會社

近江八幡町

出張所 基督教青年會同盟本部内
東京市神田區表猿樂町
電話本局六二四番

宮内省
各宮殿下
御買上八回

桑港萬國大博覽會 銀牌受領

於博覽會共進會 金、銀、銅牌廿餘回受賞

甲斐國産

御申越次第商品目録進呈

水晶細工品

印篆刻
眼鏡一式
軸掛
裝身具
（指環、小差、簪、櫛、根掛、エリ止、帶メ、守玉、ヒン、カフス釦）
床置物
珠數

印傳袋物

二ッ折札入
弗入
財布
莨入
手提
手袋
（共紐、叺、御殿持、巻莨入、火の用心、文人持）
スクールバック

（水晶印章篆刻幷に細工品共懇切を旨とし精々勉强仕り
御好みに應じ如何樣にも確實に御調進可申上候）

商標

玉泉堂

山梨縣甲府市柳町
電話百〇二番
振替口座東京五〇六四番

されたしと浦鹽にあるマシウ幹事より申來れ子、物品等本部に宛て御贈與あらんことを切又御贈附の節は表紙に戰地のためと御記し下し。

東京神田區北神保町十四番地

日本基督敎女子青年會本部

國式{食料麵麭 西洋菓子}製造販賣

赤坂田町七丁目六番地(米國大使館前)

アメリカンベーカリー

數年間女子青年會の幹事の下にありて西洋料巧妙なる技能を以て名あり、今回新事業を開パンの如きは市內何處にても每日配達す美しき信徒たれば原料は優良品を用ゐ、取扱丁寧なるを保證す。何卒諸兄姉の御引立あらを願ふ。

女子青年會幹事一同

東京市麴町區三番町三十番地(市ケ谷見附內)

電話六二番 番町五一六番

東洋內科醫院

院長 醫學博士 **高田畊安**

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱(從停車場半里)

河野、高橋、兩副長は目下當院に在勤

院長診察 土曜日午後 入院診後應需

「診察每朝 但祭日及日曜及土曜之他」

シベリヤ問題に就て

河井道子

東京に於て、男子青年會同盟委員主事、牧師、宣教師代表者等が會合して、シベリき、慰問事業如何になしてよきやとの協ました。その席上に矯風會代表者と女子青年者とが招かれ、基督教婦人がこの際積極的可きかにつき提議されました。その際シ地視察を經て歸朝されし齋藤惣一氏の云は鹽に於ける日本領事其他より聞くと、在留もこの際幾分かの活動はなし居るが、殘念ながら日本婦人に敬意を表されて居らない。却て輕蔑される傾向がある故に、日本人の働きは一方に於ては餘程謹愼の態度で熟考しなければ、却て徒費に終るだらうとの説である。日本の兵士が浦鹽に上陸するや第一に出遇はした日本婦人は、兵士に向ひあなたの一圓と此方の三圓とを替へて上げませうと兵士は大嬉びで替へて貰つたが、露貨の三ルーブル實に日本の金にすれば僅のものである。斯く最初から同胞とさへ騙[illegible]

避難者二千人程浦鹽に來たが、其半數は斯る婦人又は其等の者に依つて生活する男子や家…たとき〻、尚更慚愧に堪へない樣に思はれ…る日本婦人が浦鹽あたりに澤山在るとするどれ程日本兵士が勇敢な活動をしやうと、…の名譽は世界の舞臺から見ると、非常に低く…る譯であります。さればと云ふて日本婦人…かしき忌はしき女丈だと思惟されると云ふ…國者の默許する事ではありません。この際特…教信徒婦女子は總ての階級を通じて、眞面目…面目なる奉仕の實を擧げて、日本の價値を…責任があると深く思はれます。まだ具體的…したらばよいかと云ふ事は計畫されて居りま早晩活動の舞臺が開かれませうその際皆が

青年會の貨車に…來て砂糖を買ふ事があるさうです。抑青年會の貨車と云ふのは、今二十四臺あつてそれが戰地の何處にでも出入する事を陸軍省より許可されて居るのみならず、大歡迎を受けて居ります日刊新聞によく米軍の活動などと云ふうちに、娯樂的又は修養的の記事が出て居りますが、それは皆青年會の活動であると主任者が語られました、この貨車は續々數を增して、兵士の行く何處にでも附き從ひ、其内部は小さな會館の樣に出來て、其處にテーブルがあり讀書或は手紙を書くに便ならしめ、一方には臺所の樣なものがあつて、用水を煮沸蒸溜して兵士に與へて居ります。又茶を拵へて慰勞に備へ、必要の食料品を積んで、餓えたる者を助ける樣になつて居ります。この貨車は主に米國の青年會幹事が指揮して居るが爲、日本軍兵士に時には言語が通じ

便を感ずる事がありますので、今回日本人又永年日本に在りし幹事即ち長崎のツルー

二、出征軍人に對し必要品の贈與。

三、浦鹽に避難せるチェックの…

又永年日本に在りし幹事即ち長崎のツルー大阪のグリソン氏等もそれに加はられまし九月七日入港した春洋丸には、米國より十人が戰地に行く爲、横濱に上陸した次第で。露國に於ける日米軍の間には青年會が恰於ける聯合軍に活動せる青年會と歩調を合助、慰籍、奬勵、看護の任に當つて居りま神は基督の御名の下に組織された、斯る團多端なる時代に起して、之を活用し給ふ事しです。斯うなると女子青年會は何が出來云ふ問が婦人の吾々友人の間に胸中に直ち參ります。吾々は男子と共に戰地に赴く譯ません。而し神もし許し給はゞ戰地に迄踏當の働が出來る樣にも致し度と思ひます。の場合一二の考を浮んだ儘に列記すれば左はれます。

の團體と聯合して相當なる協力と與ふる事

……對し必要品の贈與

三、浦鹽に避難せるチェックの婦女子や出征軍人の家族の爲衣服食料等の供給を助くる事。

四、浦鹽附近に於ける賤業婦の取締につき矯風會其他と力を合せ其運を講ずる事。

其他種々ありませうが、以上は主なる事の樣に思はれます。これを如何に取計ふ可きかは其々考を講ずべきであります。要するに吾々日本婦人の面目を改むる一方に、氣の毒なる同胞軍人の家族とチェック軍婦女子の爲に救助するこの二が主なる事の樣に思はれます、特に避難民救助の爲米國赤十字社よりの依頼を受け、本部幹事ミス、マシウは數人の米婦人を伴ひ、九月二日出發されたのであります。この秋は吾々には今迄門外視された事柄が續々襲來致します。例へば物價騰貴の爲の生活問題、戰爭の爲に新に惹起する問題であります。故に益々神を中心として立たなければ、活動をしながら罪を犯し、經濟と重んじ過ぎて博愛心を殺し、他の爲に働くの己

□安孫子夫人の感想

致しまして未だ日が淺いので纏まつた考も御座いませんが、私が留守の間に日本が各方面に長足の進歩をしたのには驚きました。本の長所を得る事に熱心でありますので、歐洲より直接に善い所を輸入致しますから、米國より進んで居る點もある樣で、私も學度と思ふて居る所も御座います。而し歸朝して匆々深く感じました事は公德心に缺けて居るといふ事で御座います。これは暫く離れて居つた私に第一に目にとまつた事で御座いますから、日本に初めて來られた外國人にも、同じ感を與へるのではあるまいかます。

電車に乘降の際、又は車內での公德心はまだまだ日本には缺けて居ります。電車の込み合ふのは車臺の少ないと云ふ事も御座いま種々なる事情があるのでせうが、我勝ちに押込んで而もその人は出入口に立ふさがつて得意然として居るのは利己心も甚だしい座いますまいか。誰も永い間往來に立ち度はありません。一刻も早く乘り度いのが人情で御座いますが、人員に限りあるものにそには參りません、所が外國ではこのやうな場合には自然に列を作つてしまひます。後より來た人に後れる樣な事も致しません代りしのけて自分が先に乘るなどゝ云ふ事はなく、自分に來る順番を待つて乘るやうにして居りますから、込み合ふと云ふ事は御座いこのやうに致しますれば腕づくでなくとも、老人でも小供でも、順番が來れば乘れる譯で御座います。汽車の切符を買ふ時も同、行けば早く買へる譯で御座います。車內での不行儀は今更事新しく申す事でも御座いますまいが、十年昔も今も相變らず人の前ませて居る婦人を見かけます。又汽車や京濱電車に乘りますと、立つて居る人があるにも係らず荷物を澤山並べて、席をとる人迷惑を物ともせざる人又は不行儀極まる事をする人など實に公德心の缺けて居るには赤面致します。或る外國人の話に「日本人はと丁寧であるが、知らぬ人は丁寧でない」と云ふ事を聞きましたが實際私もそのやうに感じました。

上ました事は少し心ある方、殊に女子青年界をお讀みになる位の方は、疾に御氣付きの事と存じます、又隨分古くから斯る事はれて居りますから、今更事新しく申上げる迄も御座いませんが、まだ日本は斯うであるかと痛切にこれを感じ、如何に社會が進步德心に於て遥かに歐米に劣つて居ると思ひました。これはどうしても廣く世間に訴へて皆樣と御一緒に改め度い事と存じます。

信徒の朝、晝、晩。

山室軍平

「なんぢの大庭にすまふ一日は千日にもまされり」の如くである、更に進みて一年三百六十五日の中の一日が他の數年にまさる記念すべき日となる事がある。よき意味でもわるき意味でも他の幾年の日に比べて特別の日となる。アダムが樹の實をとつて食た日は、彼の生涯を破滅したのみならず後世にも及ぼした。ユダがキリストを金で賣渡したその日、又キリストが十字架につき給ふたその日は大なる日である、エノクが三百年神とともに歩みしが、その門出の一日があつたに相違ない。基督信者の一日は容易ならぬものである。生涯そのものを動かす特別の關係をもつものである。故に神を知つた後の一日は非常に貴い、鎖の力はその中の一番弱い鐶より大なる

の御言葉は我々にかぎりなき生命の約束一生は短かくして、とても滿足出來ないトの言葉によるとかぎりなき生命を知る五十年生きるかどうかの生命をキリストめ永遠の生命をうける。只それのみなら更に深い生活を營み、意味ある内容ある過す事が出來るのである。我々の過す一模型である。朝は赤坊の生れる時、八九き人のやうに勉强をして居る時、それか年に達し四十となり五十となつて漸く下。それ故に一日を輕々しく過すと一生を事となる。即ち一生の一部を無駄に過しだいなしにする事となる。然るにキリス

れけて朝　晝　晩につき考へたい。
を有用に過すには早朝よりはじめる、まづ朝
して目を醒すか、朝より決心、覺悟、準備を
つかへる事である。然るに多くの人がそれ
である。酒を朝より飲み夕迄酒氣をおぶる
。婦人が家庭の人となると、朝は大事であ
夕の如く働くもよいが、大切なる事を等閑
らぬか朝すぐ新聞を讀むだけでよいかそれ
日の仕事に對して心の準備が必要である。
は感謝の時として迎へる。神の慈愛の許に
事に過しこの新しき廿四時間をまた過すや
た事を感謝する、昨日まで笑ふて話して居
、今日はこの世の人でない事もあるに、自
新しき日を迎へるは有難い。故に第一に神
謝すべきである。信仰厚き或人が朝雀の囀

れて手をふり自分はまだ第一に神に話さなければな
らぬと云ふたそうである。
第二の事はその日一日に對して、神の御旨を尋ね
る事である。女中が主婦の言付けを伺はずに事をし
たらどうする。そんな女中をおくのは迷惑である。
女中は主人の旨を伺はねばならぬと同じく信者は神
の思召を伺はねばならない。夜明前に、イエスは神
に祈り御旨を伺ひて後、その日の仕事に取掛られた
弟子を選びし時も、終夜祈られた。「主よ今日我に何
をなさしめんとし給ふや」と朝伺ふ事は鏡に向ひて
髪を正すよりも大切な事である。下谷に一人の紳士
が早合點の女中をもつて居た。ある日主人が歯痛の
ため半日苦しんだ後、女中を呼び「上野の廣小路に
いつてね」といふとはや走り出てしまつた。廿分ば
かり經て歸つてきて「御用は何でございましたか」

用をき〻終てから出るものだ」と主人は女
しめた。神は何か御用をさせるためてあな
して居る。祈禱なしに二時間勉強するよりも、始の

しめた。神は何か御用をさせるためにあなに送られたか。その女中は用を聞に歸つたよいが、惡い信者は出たまゝ歸つて來ないんで考へ、祈る時に今まで氣の付ざりし事す、祈りの中に神が我々の心の中に示してが多くある。「汝の力は汝の日々に求むる處はん」といふ句がある。今日入用だけの力神は與へ給ふのである。ルーテルは祈りのた。毎日二時間を祈禱をした。多くの信者い時は、一番先に祈りをやめても家事はや、忙がしい時には尚更祈りが必要である、將軍がアフリカの戰に朝になると將軍の窓チーフが見えると、誰も將軍に近づかないりの時であつた。どうか皆さん朝第一に祈下さい。私が旅をすると旅館で朝祈禱の時れて仕方がないから、目をさまさない風を

十五分を祈りに費した方が遙によい結果を得られる次に晝を如何に過すべきか。晝の中は、我々各自の職分をなす時である。「時は金なり」といふが、金は失ふても取戻す事が出來るが、時間は取戻す事が出來ない。然るに多くは信者が時を濫用する。喋る人の噂をする、芝居を見る時間はあつても、人の爲又病人の訪問の爲に費す時間のない人が多い。晝の中に神より與へられた時間を出來るだけ活用せねばならぬ。「一人の英婦人が莫大な金をもつて居て諸所を旅行して、出來るだけ多く金を費した末濠洲へ旅行せし時に信者となり、英國へ歸りロンドンで十二年間を神のため費し働いた。傳道學校の卒業生が學生時代の信仰を屢々失ふ例がある。聖書を學び歌も上手にうたふて欲しいが、どうか心の宗教をよく養ふてほしい。横濱の一婦人が我一人の友に語り、「うちの女中が救世軍にかよふ間は茶碗が毀れない」と

ぎごない　兩國假に義士蕎麥の十七代目の酒をのみし結果看板を賣りて、沼津になが、悔ひ改めて斯の如き店を始めた處、非常て居るそうである。そこに日常宗教がある務を行ふ中にキリストの教をひきこむ。キ信ずるものは小さいと思ふ日常の生活が、永遠に行くのである。
愛を行ふ時である。日々の務をする以外に行ふ事を務めねばならぬ。トルストイが外居ると、一人の乞食が來て金を乞ふた。生ない、仕方がないので「兄弟よ殘念ながて居らない」といふと、乞食は小躍りしてばれただけで大喜びした。多くの同胞が、て居る。かのムーデーは一日に一口でも、リストの話をする事にきめて居つた。ある

か」といふと怒つたので早く信じなさい」といへ歸つた。翌日役所へ出ると一人の友が君昨日僕の友に失禮な事をしたといはれた。二三週間後に、その人がムーデーを尋ねてきて導きを求めた。或忙がしい日、又忘れた。その夜は大雨であつた、通る人の大きな傘の下に入れてもらひ、歩きながら「あなたの魂に大雨のきた時にはどうする」といふて傳道した。或時長尾半平氏宅へ行き、用事を話し終ると一人の田舍の村長が來た、私は村長に向ひ、もう一歩進んで禁酒の上に信者となりなさいといふて勸めた。長尾氏も默つて居らず同じ事をいふた。村長の歸つて後祈りをして本を送つた。何かいまに答があると思ふ。心掛けると機會がある。一人の魂を導くと非常に嬉しい。私は十六の時信者となり、十八の時道路で說教した。讃美歌は二つだけ知つて居つた

て聽に來て居つた郵便局長の妻が信者との子も信者となつた。十九の時子をもつた

ふなしたるや」と夜又同じ事を繰返し、寝る時に又繰返し云ふた。

の子も信者となつた。十九の時子をもつたに傳道した。先日姫路へ行きし時、師範の生に會たがその人であつた、皆さんどうか會る毎に人を信仰に導いて下さい。

晝の仕事は、堪えず來る誘惑に打勝つ事で惑は信仰が進みて後もくる。神は愛するものを苦しめるために病を與へ給ふ事もあるが、信仰によつてそれに打勝つ事が出來る。私は近頃筆をとるのが悲しみにある人を慰める本が少ないのでそのやうな本のために筆をとつて居る。

夜は如何にして過すべきか、夜は罪を代表し罪人は夜、惡をなす、長夜の宴といふて、夜を徹してさへ惡事をするのである。反對に信者は明るくして、善き事を爲やう務める。夜は又反省の時である。タビデが「夜は我心我を敎ふ」と。ブース大將は日に三度我身を顧る。晝大將は

繰返し云ふた。夜は又希望の時である。列王記に、「夕あり朝あり」と。「暗い時があるが又あかるい時が來る詮方盡れど希望を失はず」といふ言葉もある。

斯の如く信者の一日は非常に大切である。朝神の恵を感謝し御旨を伺ひ力をうける。晝は周圍の人の魂を愛する愛を行ふ。あなた方の胸の中に魂が宿るなら、人の魂を愛せよ斯の如くにしてエノクの如く三百年神と共に歩む事が出來るのである。斯る立派な婦人が一人あるならばその婦人の後には、彗星の如く美しい光を放つ。エノクの三百年も門出があつたあなた方その清い生活の門出があるか。若しまだ出來て居なければ今日今その門出を速になさい。

（文責記者）

消息（一）

○ミス、マシヤ。米國赤十字社日本支部よりの依頼を受け、九月二日夜ミス、（フオンダ）を伴ひ、西伯利亞に渡り、避難者慰問の任に當る。

○外國幹事集會。九月十日神田會館にて終日の集會を開き、會の方針等を協議す。直ちにミス、タピング、ミス、ニクソンは神戸。ミ

ーク會（市の燈臺）と云はれて居る。青年の章の表はせる如く智、體、德の爲に盡す。活動寫眞などはフィルムを直ちに作り、盤で見せ又米國に送つて居るが、其倉庫を修青年會の事業を開始する筈である。此處ではたてゝ入浴させる計畫もして居る。日本の青日本兵士の爲に働くは無論であるが、聯合軍充分働き度と思ふ。今聯合軍の上にたつ事もあらうし、困難もあるがそれは基督者の上た使命であつて、今回我國もチェック保護最も貴い名義の下に出兵したので、これは實教の精神にふさはしい事で、私意を差挾まぬ等の爲に働くは基督者以外にはない。

□基督者なればこそ

青年會の人は、自分の國の兵士の來ぬ前、昨ある。私は聖書に於て一杯の水を與へると云のるが、文字通りて如何に水の貴

る。今では日本の兵士を此處に來て慰勞されて居る。斯の如く米國青年會の人々が日本の爲に働く、これはどうしても信者でなければ思はれざる事である。この働き人の中には大學教授もあり、名聲ある實業家もあれば、牧師もある。世人は何と解釋しても基督者なればこそ出來るのである。中には彼等は野心があるのであらうなど云ふ人もあるが、よし野心にしても、己が生命を堵して他人而かも外國人の爲に盡す心は偉大なる野心である。

□水一杯

日本に歸つて來て水を見る毎に、あゝこの一杯の水を彼等に見せれば如何なる價を拂つても求めるであらうと思ふ。彼等には飲む可き清水がないのである。飲料として居る水は紅茶の樣な色をして居る。而かも其の水も、又捨てる水も代價を拂つて運ばせ

るが、文字通りに如何に水の貴きかを此處更の如く知つたのである。故に渇ける兵士會の茶湯が如何に意味あるものであらうか

□日本兵には砂糖がない

兵士には砂糖が渡つて居らない。彼等は菜醬油エクスを解かして鹽煮をして居る。働非常に糖分を要するものだと聞いて居るが私は彼等に幾度か砂糖を所望された、而し砂糖を渡す事は禁じてあるから致し方がな餘り見るに見兼ねたので、自分の砂糖を飯分け與へた時、彼等の喜ばしき顏は今も見ある。戰地に於ては斯く水攻め砂糖攻めで霜は既に降つて居る、彼等は來る可き嚴寒過ごすであらうか。

佃煮、味の素、鰹號の削りし物（此等を入壜、空鑵等を利用されたらよいでせう）防チヨツキ（紙の間に綿を入れて作りしもの）り紙、手拭、雜誌、娛樂品等を贈られたら

會告

紙價の暴騰と印刷費の殆ど隔月の價上げは雜誌部に取り非常な苦痛であります。昨年の春より倍の費用で「女子青年界」も從來の一部八錢では負債が重なるのみですから、値上をしたらと諸所より注意されましたが出來るならば今迄通りにと今日まで戰ひましたが、又印刷費が二割増となりますので今度は如何とも出來ません、加之紙は益々上るのみですから、十月から一部金拾錢、一ヶ年金壹圓と致しますゆゑ何卒御諒察下さる樣願ひます、既に今迄前拂の方々へは是迄と同じに取扱ひますが前金切の時は新規の定價を申受けます。

日本婦人中には個人として尊敬を受けて居して少なくはありません。然し一般から云確に輕蔑せられて居ると思ひます。何故日輕蔑を受けて居るかと申しますと、勿論そは正當なる然し悲しむ可き理由があるので。

統計に由りますと、毎年監獄に居る人は平千人で、年々獄を通過する者は二十八萬人て其原因の多くが婦人に關係して居るとは可き事であります。監獄には身分書と云ふります。卽ち罪の原因、身分、未來の希望く書き取つたものであります。或る人の調ば、百人中の九十人は其犯罪の動機婦人に發見したさうであります。實際婦人の獄に居る者は、比較的少數で十九分の一に過ぎありますが、男子犯罪者の裏面に婦人の犯

高き理想を與へ、正しき道を歩かせねばなり
これは私共の責任であります。直接には政

罪のある事に否定出來ぬのであります。これを見て我等婦人は責任なしと云ふ事は出來ませうか。

日本現在の統計によれば、高等女學校の生徒數は約七萬五千人餘で、又女子小學校敎員は四萬四千人で、日本婦人の敎育は可なり進んで居りますが考ふべき事は賤業婦であります。其數は

藝者四萬五千人　酌婦四萬四千人以上
娼妓五萬二千人　合計十四萬一千人餘

この他登錄せざる賤業婦は數へきれぬ程あります。これは高等敎育を受けた婦人と比較して見るに、賤業婦の數は前者の約二倍であります。我等は女子敎育が盛になつたと喜んで居りますが、決して安心すべき地位には居りませぬ。我共に前に擧げた統計によつて社會が婦人に對して尊敬を拂はない理由を、明かに知つたのであります。

二、私共は社會に尊敬を拂はれる者となる前に、

様な事はないのであります。斯くして自己の人格の
みならず他の人格をも助ける事が出來ると

これは私共の責任であります。直接には政會改良學者等努力して居りますが、然し私して何を爲すべきかと云ふ問題は諸姉の間居ると思ひます。

申上度い事は婦人の自重と云ふ事でありま古來の教育は婦人の自重を失はせました。子にの三服從主義は、婦人として自重なきました。勿論服從は大切でありますが、自を捨てる必要はありません。今の時代は個を認める時代であります。譬へば妻が夫のつて犯罪を犯したとするならば、社會は決行爲を善と認めません、法律上からも宗教、何等云ひ開きの出來ぬものであります。自分の一言一行は全責任を負はねばなりまが斯く申すと、皆樣は私が婦人の我儘を助樣なものと思召かも知れませんが、神の御して奉仕的生活を送るならば、決してその

[illegible]して自己の人格のみならず他の人格をも助ける事が出來ます。斯くすれば賤業婦もなくなり、犯罪も消滅するでありませう。それは私共の隣人に對する第一の義務であります。大仕掛の社會事業に手を出すより、この精神を以て靜かに努める方が遙に有益であります。是非一つお願し度い事は、個人の人格を認め自重して今迄の社會に於ける惡制度を全廢する迄、私共は自己の罪を悔い改め祈つて、努めて頂き度いのであります。

（文責記者）

消息（二）

○神戸市部。ミス、タピングは神戸女子青年會市部を創立の爲、同地籠池町七丁目十番地に家を借り此處を根據として事務開始。

○藤田とき子姉。神戸市部創立の爲、女子青年會に就職さる。同姉は函館遺愛女學校卒業後、神戸女學院及び女子神學校に教鞭を執られし方なり。

○吉良うめ子姉。神戸市部創立の爲就職。同姉は北海道札幌北星女學校の出身にして、教育、實業等に多くの經驗を有せらる。

○安孫子夫人。九月より府下大森に居を定められ、專ら御老母須藤[illegible]

は見であ[illegible]した。見送くる人見送らる合ひへし合ひの姿で、私共は女子青年會本ミス、マシウを浦鹽に送りました。八月下米國赤十字社より依頼を受けて、浦鹽に避エック族の婦女子救護會を組織する任務を氏は出發したのであります。本會の體操部るミス、フォンダも他の三名の米婦人と共マシウに隨行致しました。一行は紺色の制赤十字の徽章を付け、如何にも甲斐〴〵しりました出發以前浦鹽よりの電報に八萬人に用意せよとの命令があつたそうで如何に任がミス、マシウの双肩に懸つて居ります。頃東京の新聞や雜誌が「日本婦人の侮辱」なてマシウ氏が我日本女子青年會を代表しため出發した樣に仰々しく書き立て、日本の

時季ではありません、「吾に我をなさしめ給祈つて働く好機節であります。

た　是も日本婦人が外國に於て尊敬されぬから不得る止處置だなどかいて世人の注意を引きましたが、ミスマシウは決して日本女子青年會を代表したのではなく、米國赤十字社日本支部が、米國婦人中適當と思ふた人を會社からも、學校からも、病院からも或は組織團體からも借り集めたので、マシウ氏は平素外人中にも聲望高き人物ですから、今回拔擢され個人として出發されたのであります。

浦鹽あたりには同胞で賤業をして居る婦人が澤山あるのは事實です、是に對しては私共は恥ぢ且つ悲まねばなりません。併しそうだからとても又歐米國の女子に劣らぬ婦人も日本にはあります、私共も此等の方々の指導の下に是非とも善い働を仕度いものであります。私共は今、月花に浮れ墨客騷人を氣取りたり、悟を開いた眞似事や、或は姫方の華美な姿

のです。私共は避難者の衣服に付き又彼等の働につき思案中です。[illegible]

斯つて働く好機節であります。
氏よりの第一音信は九月七日附であります
著い事、避難者の收容館が竣工中の事や、
ために鐵道線が長距離まで安全で、避難者
の恩惠である事など知らせて參りました。
避難者の子供等のため女子青年會々員は五
玩具を半分は男兒、半分は女兒のため、其
物を入れた人形(ラグダール)を赤子のため
贈與つて欲しいとありました。
信は十四日附で大略を記します。
附けられる樣になりました、今二人の通
いましたが、不足ですから增員します。フ
、他の米婦人は通譯人を伴れて遺族や避難
す。彼等の夫の姓名が記錄されてあるの
手懸にしてゐます。此仕事は以前の救濟
ゐましたが、政府の變動のためや樣々で
して、米國赤十字社に其仕事を引渡した

き老案中です。昨日きけば一團體の婦人連が各自五十留を投じて資本とし、仕事會を組織して、一室を借り、裁縫の注文を取るそうです。

布哇、フヰリピンの米國赤十字社支部よりも、代表者を派遣して活動させてゐます、赤十字の自働車は方々で使はれますので、私共は奇妙な二頭馬車に乘ります、馬の一匹は先に行き、一匹は横側に隨行するのです。馭者は古びた黒ビロードに赤の袖の付いた上衣で、恰も芝居の人物みたやうです。仲々荒く々しい言葉を吐くらしい顏付ですが、言語が通じませんので、私が方角を敎へる時は、後部から彼の背中を指で押すのです。」

私共青年會員はミス、マシウが個人としてでもかく樞要なる位置にて善き働をされて居るを喜び且は誇として居りますが、隣國なる露國しかも東京より近々二日で行ける浦港へまでの慰問、視察救濟等を日本婦人が我不關焉として拱手して居らるのは

者も女中も、皆神の大切なる娘として生れて
は、力の限りを注いでシベリヤ出征軍人や
チエック族避難者、病兵のために盡す喜を
と存じます。

御茶一杯のため

山口縣　香川千歳

隨分實ありし修養會なりし由尙々美しく存じました。今
した靑年界を寄宿舍の舍監室に於て繙き、まづ懷しき師
筆のあとをたどりました「斯く意氣消沈したる學生が集
時にお茶一杯は何位の活氣を與へるか分らない是非出來た
眞實にこうした時に私共は何の不足もなく送り居る事が
樣て、手を束ねては居られません。修養會でも世界婦人
奉仕する爲め茶をお送りになる爲御集會の由、私もなんだ
い樣な氣がして、胸がどきつきました。この中に封入致
金貳圓は誠に少額では御座いますが、其一杯のお茶の内に
ん事を望みます。

何時も淸く樂しくあつた仙臺修養會中の事共思ひ出しては獨で喜んで居ります、殊に九月の女子靑年界拜見致しましていとゞ懷しくはつきりと頭の中で繰返されてなりません。又一週間中無事に出席出來て色々な方面に於て、信仰上の糧を得ました事を感謝して居ります。殊にあの會中で私のぐづ〳〵して居た心に力强い決斷力を與へられ、生涯中最も大切の決心が出來た事は實に感謝に堪へません
そして先月の二十五日に東六番町の日本基督敎會で洗禮を授けられ愈々眞實の信者になる事が出來ました。實にうれしくて感謝して居ります。洗禮を受けましてからは氣分も改まり何事も一々神樣に御相談申上げる樣になり、輕々しくしない樣になりました。でも時に我儘が起つて困ります。只今之を直す樣に努めて居ります。一昨年河井先生が仙臺においでになり東二番町敎會で、「何ぞ空しく立てるや」といふ題の下にお話し遊ばされた時に、仰せになつた聖句「罪の報は死なり」されど神の賜物はイエスキリストに於て賜はる永生なりとの句をどうして其後忘れられません。そして受洗する時に泌々と感ぜられました。これからは神を第一とし、この感を持つてキリスト樣に依りすがつて神の子として正しい道を歩む樣に致しませう。

○正誤　八月號所載、星と雲、晩の兩詩、森田松榮譯とあるは作の誤

東京府廉米賣捌に參加して

平岩末子

……に參加して

平岩末子

ジャン、ジャン」警鐘は擦て鳴つて居る、物凄く胸を唆る、疾風の如な數知れぬ自ては歸さぬ人波の間に見えつ隱れつ走つ保町の電車の交叉點を中心とした神田のの憂慮と騷擾を周章其儘の活畫を呈した大火柱空中の偉觀は幾萬の觀衆をか誘ふ年會館に池魚の災なかれと祈る私が淺に飛び乘つたのは八月十九日正午過の事停留場山谷で下車し右路に曲つて急ぎ步朝鮮米一升三拾錢外米一升拾錢」と墨黑たビラの前に立つて居た。ビラは淺草玉玉姬小學の門前に生活難救助の福音を語である。府廳の紹介狀を手にせる私は一員として否青年會の代表者と見做されて修羅場なる職員室へと導かれた。早速米の調印の役を仰せ付かる、須臾ならずして周圍の大活動の氣分に吸ひ込まれて仕舞つた。賣渡開始の午后三時の定刻前に、はや校門の左右一丁程には人の黑山が築かれて居る。人生のあらゆる階段を網羅したる群衆よ、暫時想像の世界に瞑目すれば、そこには人の世の春を享樂する艷やかな花嫁が微笑で居る、花嫁を擁して步調も凛凛しき青年紳士が見える、希望に輝く笑顏の男兒、女兒の色彩がくつきりと浮ぶ、老の身を慰むる一大團圓をさへ想つた。「未だ門を開けねえのかよう」と杖を片手の髮の毛眞白の御婆さんの嗄聲に驚かされて我に歸れば現實の人々は「沈痛」と題せんか暗灰色の單色畫である群がる老若男女の瞳に服裝に均しく人世の疲勞と絕望とは巧妙に描き出されてあつた。

雪白ならねど淸潔と洗濯したるエプロンに身を固め數人の女教員方の間に立ち交つた。警戒と鎭撫の任務とを帶びて巡查の一擧手に二三十人程の購買者

げもなく漏れ出す。泣いて訴へ顔の子供の手近の新聞紙で、補綴を當てて包み直す。に頭の上には氣息奄々として「パンを與へぶ群が溜つて居る。帯をしめて居る者は珍甚だしきは着物らしきものを纏はぬものがし風俗壞亂と責むるは或は殘酷であらう。止むを得ず原始時代に歸つて行くと云ふ憐憫禁じ得なかつた。斯くして雜鬧の連續に忙事三時間、時計は六時を告げた。校門は閉ゝに始めて夕陽から自由の空氣を呼吸するれた。相互を慰勞する言葉は交はされる。購買者は五千を超えたとの事であつた。の電車は氣のせいか汽車のやうに早い。隅田にも微白く流れて川緣に比ぶ人家の燈火を細く長く映して居る。眩き許りの樓上から卑

たので淺草方面は同姉に一任して、私は岩本昌子姉と東洋英和の五年生柴田英子姉に同伴を乞ひ本所の太平小學の門を叩いた。新しい材木の香りは新築間もなき事を知らして居る。きけば今年九月よりこゝなる帝都の一隅に生れ出んとする此特種小學校の校長は倫理學を修められた文學士であつて敎頭も亦東大哲學科の御出身との事であつた。「會計方を御願ひ申しませう」と言はれて開門の二時を合圖に我々は三ッの椅子を與へられた。赤の友禪模様の帯の上に房々とした髪の毛を垂れピンクのリボンも初々しげな愛らしい英子さんは、骨格逞しい多くの米商人、町内の世話役連中の武者振り殺氣立ちたる戰場に咲く一輪の花であつた。

六時に御別れを告げんとした我々は校長に招かれて職員室のテーブルを圍み牛肉、野菜等の家庭料理

親しい御家庭を御訪問申上げたやうな氣がと思はず口走つた私の言葉に機を得て校教育方針の一端を洩らされた。

の盡力により英學塾御出身の山口たか子姉淺草に得た事は嬉しい。田丸米子姉は巡回を繰り合はせて矢張り玉姫を手傳はれた。には柴田姉と同姉の學友土肥幸子姉とに應援して私は更に進んで本所緑町の三笠小學つた。安全區域に置かれた巡査のそれにも罰を與へられた。此處では心身に餘裕あるえて、最も多くの人類の心理作用を觀せらに思ふ。最終の第八日目に「さもさも廉米來たやうだからもちつと巧く包んで歸らう一人の女の聲は私を惹き付けた。目前の急には廉米も賣らねばならぬ、施米も必要で

此自尊心の教養である、發揮である。悲しいかな、貧民窟の子女は無智なる母親の遺傳と感化を享けて不良兒、低能兒が多いときかされた。熟々思へば社會の改善進歩の原動力は宗教と教育事業とにある。就中女子教育の一段の振起が願はしい。我々日本婦人はもつと確固せねばならない。夢寐にも忘るまじきは各自の周圍を向上淨化せしむ可き婦人の使命である。夢のやうな夕月を仰ぎ見乍ら家路を急ぐ私の心は、「空想を不完全な世界に於ては到底實現する事の出來ないもの」として嘲弄する人々に私は偉い且眞理を含むで居る。

「幻影のなき所民衆は滅ぶ」

と云ふ言葉で答へやう。と云つた。婦人問題の先覺者にして文明批評家であるエレンケイ女史の其言を懷しむだ。

（一九一八・九月）

せられませう。私は三年間小さい友と自然豐かな山の中に種々の試練の中に樂しく過しました。貴女の學校もなか〱むづかしいよの女學校のそれの如くではないでせう。私へられし經驗や感じを申上げませう。どう生徒の爲め又其種の日本の女學校の爲め御さい。五月の末頃でしたが時ならぬ折に職員るゝので、何かしらんと別に考へもせで出しました。色々つまらぬ問題や人格を無視し事柄が數々あげられた後で、宗教は自由なる決して教師は生徒に勸誘したり、又勸誘がましくあつてはよろしくない。絶對にまだ頭の固子供等に宗教を信じさせてはいかぬと云ふ意訓示が校長からありました。二十三名の教師キリスト信者は私一人でしたけれど勸誘した

ました。自分の經驗から考へましても眞に自てくれる教師に胸襟を披いて相談を求める

に一教諭は「絶對に御禁じになるのですか御説明を」と申すと、校長は「いやそうでない、例へば修學旅行に行つてバイブルをよみ或は讃美歌を歌ひ又學校へバイブルや讃美歌を持參してよみ歌ふ事を禁ずるのだ」。との御返事をきゝ宗教問題がキリスト教即ち私個人に對しての注意であつた事を始めて知りました。佛教信者の方が婦人會に生徒を誘ふても勸誘でなく、生徒各自が求めて進められずに私の知らぬ間に教會に行く事が勸誘なのでせうか、質問も説明もいたさず默して會場を去りました。同席で「生徒は放課後十五分より長く校舍に殘る事を絶對に禁ず」と云ふ御命令が出たのです。これは放課後教師と生徒と語る事を禁ずる爲めのものでした。生徒等は私如き者にも放課後三十分又は一時間いろ〱心配事を訴へて同情や忠告を受くる事を唯一の慰といたし

命は全力をあげてＡＢＣを教へると共に何か動し得ざる賜物を生徒等の心に與へ、

てくれる教師に胸襟を披いて相談を求めるりの力であります。向上を求めて精神的にも豊かならん事を願ふ彼等は途中でも學校も語る機會を捕へんとあせりますけれど殆れぬのです。擔任外の生徒が私に話して居すぐ其擔任教師は彼女を呼んで今〇〇先話せしや、御宅を訪問せし事ありやと尋ね一寸立話でも、すべてが猜疑の眼を以てを見ると云ふ狀態ですから生徒と親しみ其りて行くのを物質的に利でも得る手段と考ゐるのです。餘り生徒の自由を無視するのは「强い眞面目な人になる樣にと全く學校離れて語り合ふ其會合の何たるかも知らずゝ壓迫を加へらるゝ事を殘念に思ひますがから壓迫を加へられても斷れぬ結びが出來さに進み得られます幸を感謝致します」なりました。私が彼地に奉職いたしました指

ざる賜物を生徒等の心に與へ、よき友よき助人となる事にあると考へましたので、誰でも求める子供に喜びつくして居りました。先の話に歸りますが其敎員會議の翌日、各擔任教師は各自の生徒に如何なる訓話をなされしか、私に宛てゝ生徒から慰やお詫びの手紙が澤山參りました、何が如何したのか解らずに居りました。「もはや一番樂しみにした敎會にも行かれなくなりました。甚く禁じられました私は先生の事を考へて泣くまいと齒をしめました。正しき愛の神を求めるのに外から壓迫されても私は制しきれません必ず時は與へられます、お祈り下さいまし。」「先生からいつか伺ふたコリント後書六章九節以下を味ふ時が參りました共に嬉々として忍びませう。」生徒の話やこれらの言葉で大抵如何なる訓話の内容がわかりました。然し「われらが受くる凡ての患難の中にも我に慰め滿ち悅び餘あり」でした。生徒も私もほんとに常よりも力强く感謝に滿ちて居りました

を殺す」やうなもので御座いますね、折角の子の教師も、人生の最大の賜を得る道も、失ふのが教育の精神でしようか。生徒も教師も打解けて語り合ふ間に尊い美しい人格的陶冶が出來て居たのです。教師は生徒に、生徒は教師に何か高きものを與へ合ふが道理であり、その四年五年の智的賜物を包んで始めて女學校の生きて働くのだと思ひます。その根本を失ふ目的に頭を走らせて尊い生徒等に對する責任を失ふて、内の畑の茄子や南瓜に水をやる事ばかり心配して教師、生徒の發達も其一人一人にある苦痛や誘惑に眼を閉ぢて過して行く教師は無い智識を與へる蓄音機に過ぎないと存じ…の辭職に就いて校長との問答を御知らせ致

でのばして戴いて學校に留任しました。それで二ケ月前に校長に辭職問題を提出いたしました。私の樣な者へもしきりに留任を進められました。何か面白くない事があるかとか、何とか親切に申されましたけれど是非と御願ひいたしましたものでそれでは後任を出來得る限り探しませうがとの事でしたが、其後一ケ月餘經つての御言葉に、後任者を諸々探しましたが如何してもないから來年の三月までとの依賴でした。私に後任者を探させて下さいとの願ひも入れられず是非來年の三月までとの勸告ゆゑ一週間考へる爲めに時を戴きまして、東京の方へ相談をしました處留任を賛成して來ましたから其由校長に御話いたしましたら非常に喜ばれていよ〳〵來年の三月まで止る事に定めました。私は止るにつけて私の日頃の御願ひを申上げ度いとて次の樣に申しました

は自由だと云ふ名の許に大抵の教師はキリス

いのですね、それでは十二月頃まで後任者をなるべ

し生徒に嚴禁の御態度で御座います。生徒宗教の自由を御與へ下さい。次に私個人にや宗教につきて何か外から御耳に入りまし闇に御信じなく直接私を召して責めるな下さるならば誠に幸であります。」聽いて居長の態度は變りました。先きの喜色は消え要領がわかりました、そういたしませう、する教師が基督教信者ですと、あなたが勸とも生徒に感化が及ぶし、それは教育上害ら其感化を止してもらい度い。」「生徒に感て居るなど知りませんもし何かありとせばく私の信仰の働で御座いませう、この知ら止めよと仰せられる事ならば、私が此校をの信仰を捨てるか、どちらかをしなければなります、私は此地を去りましても私の信る事は出來ません」と斷然申しました。三

それでは十二月頃まで後任者をなるべく探しませう」と其日はそれで別れました。私は勿論來年迄留任する積りで色々其手配をして居りますと、それから一日おいて校長の御呼び！「先日から探し續けた後任者が昨日突然見つかりましたから折角のあなたの望を私都合のみで止める事は御氣の毒ですからあなたの御志望の方に行つても宜しい、然し先方にもはや斷られましたならば來年の三月まで居て下さつてもよろしい、まだ後任者にははつきり賴まぬのですから」「學校さへ御困りでなければ私はよろこんで御暇を戴き度う御座います」と斷然申しました。「學校は困りません」との御返事で面白い行掛となりました。體裁のよい免職でしよう。然し神にまかせた身なれば何の心配もなく何か與へ給ふ事を信じて、心安らかに三ケ年間の田舍の樂しかりし生活を過去の思出に殘して彼地を去りました。

へ、知らない」などと申す大層面白い義太夫が
と云ふ事を聞いて私が義太夫を聞くと何時も
事を思ひ出しました。それは何かと云ふと、
の中の人物が煩悶苦惱するのを見ると、基督
際尊く思はれる事です。
夫は徳川の泰平が續いて段々殺伐の氣が失せ
音樂演劇などの娛樂に向つた頃に始まつたも
ります。が、音樂とは云ふもの丶、聲やら絃
りも、語る噺の筋に重きを置いたもので、聽
節廻しやら樂器の調子以上に言語と表情を味
します、三味線は、其表情を助けるのを眼目と
られてありますから、義太夫の三味線を一段
なしに聞いたら、誰も音樂とは思ひますまい
は大抵、武士の主君に對する忠義又は其他の
義俠心に、人情の可憐な所をからませたもの
です、結局、情に從へば義理を缺く、義理を立てれ
ば情を殺さねばならぬと云ふ羽目になつてさん〲
煩悶苦惱した揚句、主人公が大勇氣を振つて忍び難
い情を押へて義理を立てる所がクライマックスとも
云ふべき所です。其所に達するまでに、種々巧な言
語や表情で泪を搾り出されて居る、聽衆やら見物や
らは、其所で彌々感動させられるのであります。何
にせよ、泣きながら面白がるものは義太夫の他には
ありますまい。

由來東洋の道德は「ストイシズム」である。中にも
武士道には目的は手段を選ばずの風があるから、之
を徹底的に行ふとする時は、普通の人間には耐へら
れない苦痛の精神上にも肉體上にも來る、例へば主
人一家の危急とか、仇討の場合には、老病の親を見
捨て、妻子の死も顧ないで主家を救ひ、仇を討つと

情に引かれて行動に不明瞭な點があつてはにないと云ふ事になる、私は義太夫を聞く云ふものは恐ろしく骨の折るものだけれどを奉ずるからには、松王丸やら政岡の點まければ誠實な人間とは云はれないと思ふと古來、幾多の德敎中群を拔いた敎である事す。其秀でた點を一々擧げたら、雜誌一冊書き切れません、けれども一端を云ふと、情を捨ずに、人の本分を盡し得る樣に敎示に、即ち情を殺さずに、生かして置いて、淸めてよい働をする種とされた所が他にぬ所と思ひます。慾に驅られて身を誤り情し義務を怠るなどは人の陷り易い過で、武を戒め人として、其度を過し、反對の極端爲め、結果は悲慘なものとなりました、或德を極端に高調したり、道學に拘むと、人

此迄の注意を要す）今は文化の程度も義太夫當時よりは進んで居ますから、あんな事は起らない、あれは過去の事として聞流せば、それまでの事ですけれども音樂演劇など丶云ふものは人心を感化する力の意外に強いもので、殊に義太夫は長い年月、日本の有ゆる階級に持囃され、ねりにねつたもので多くの名人と云はれる語り手、彈き手が出て、今もあるのですから、節廻しは巧妙、撥さばきは鮮かである上に神經を刺戟する事は非常ですから人を引きつける力は、却々あります。併し噺の筋は如何にも低級で殘酷、卑猥は附物ですから、私は聽いて居ると不快の感を起さずには居られませぬ皆樣も修養會以外の義太夫は餘りお聞きにならない方がよいと思ひます

消息（三）

○黑田治子姉。母君の御病氣全快の爲九月より愈々横濱幹事として赴任されたり。

○上野俊子姉。米澤高等女學校を辭し、九月上京して女子青年會に執務せらる。

○高橋久興姉。德島高等女學校を辭さる、後任者として同窓弘瀨ハ

座過ぎてきたれる新橋の停車場あとに涙を落
孤客（かく）の如く新橋の停車場あとにきたりたたず
かに停車場あとの構内の薄明りして月ありに
靴音（くつおと）のしてやがて消ゆ下弦（かげん）の月の蒼（あを）じろきか
さ思（おもひ）ぞわけるさびれたる夜（よる）の銀座を歩みて行
の門にしろじろ鳩ら見え音羽（おとは）の通り風をかを
見附に見たる落日（らくじつ）の青ぶちなせる濠にうつる

晝のことさやけかりつる月影を
　けさ白露の雨とおきける

秋のかせ野分せしよりふるさとの
　しをには露にふしにけるかな

山のこと刈りつみて駒の背に負へる
　を草にまじるなでしこのはな

一葉ちる梅のこずゑにまつはりて
　るりいろみする朝顔のはな

偶感

子を思ふ心のやみにくらぶれば
　うすかりけりな親に事へて

我が心ありのまにまにうつりなば
　かゝみの影ややさしかるらむ

亡き人にまたもあはずはやかてゆかむ
　こむよやいかに淋しからまし

TELEPHONE SHIMBASHI 2334.

◎歐文和文處方調劑
◎歐米有名賣藥各種
◎舶來化粧品各種
◎醫療器械各種
◎舶來滋養品各種



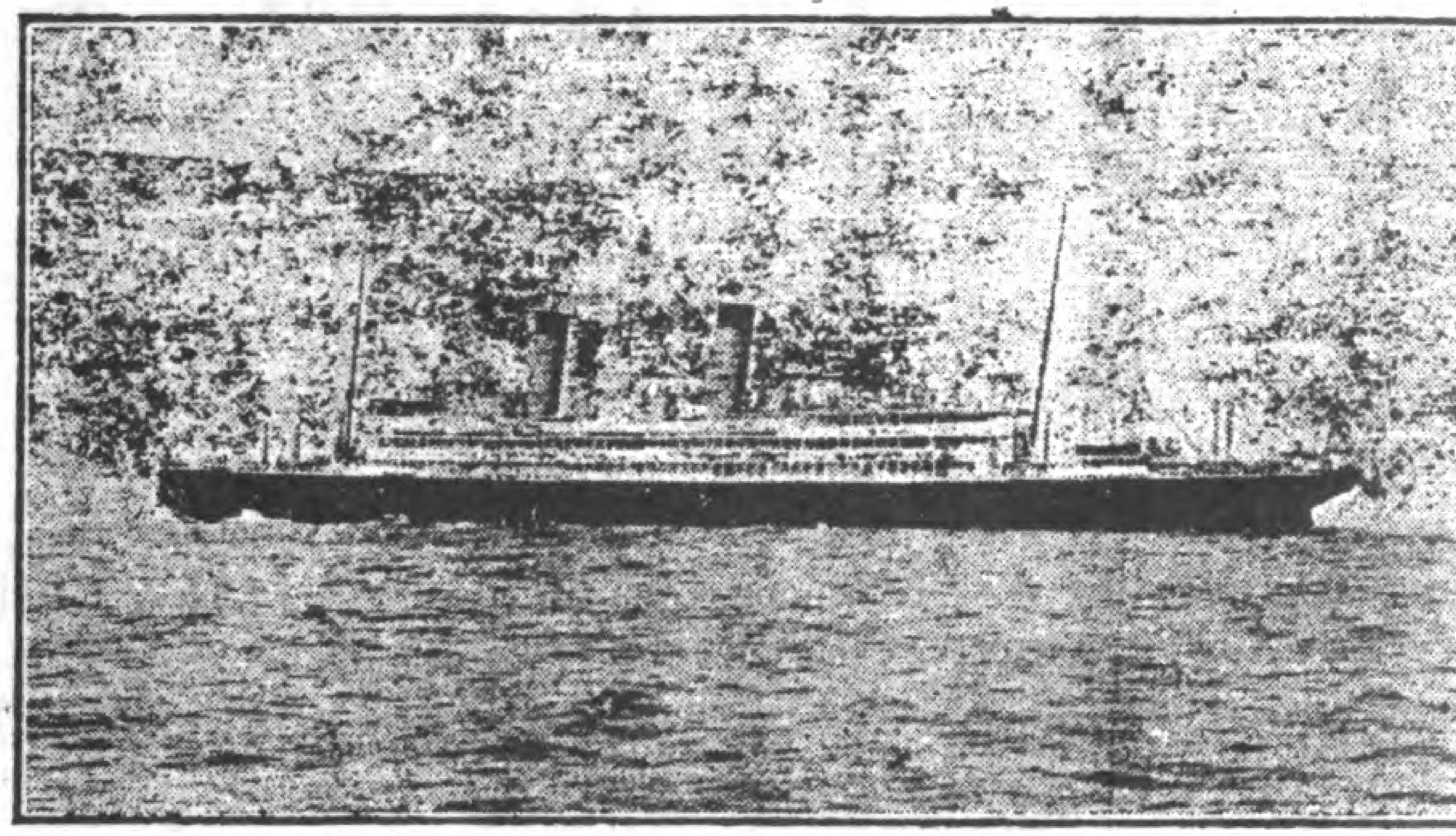
東京京橋區銀座尾張町一丁目一番地

銀座藥品部

（舊聖路加藥品部）

電話新橋二千三百三十四番

弊店は正確誠實迅速を旨とし凡て責任を以て販賣致し候間何卒御用被仰付度候



出張所

神戸市京町八三番。香港、キングス、ビルヂング
上海四川路ノース、チャイナ、インシュランス、ビルヂング
マニラ チャコビルヂング、桑港、マーケット街六二五、マーチャンツ、ナショナル、バンクビルヂング

北米航路（桑港、布哇、横濱、神戸、長崎 上海、マニラ、及香港間）

本航路は太平洋航路中氣候溫和、海上平穩なること第一にして船舶の巨大、設備の完全、待遇の懇切とに由り航海最も安全且つ愉快なり

天洋丸	三重螺旋ターピン機	排水量	二二、〇〇〇噸
春洋丸	同	同	二二、〇〇〇噸
コレヤ丸	双螺旋機	同	二〇、〇〇〇噸
サイベリヤ丸	同	同	二〇、〇〇〇噸
日本丸	同	同	一一、〇〇〇噸
波斯丸	同	同	九、〇〇〇噸

南米航路（香港、門司、神戸、横濱、ホノルル、桑港 羅府、墨國、巴奈馬、秘露及智利諸港間）

本航路は東洋南米間唯一の定期航路なり

安洋丸	排水量	一八、七〇〇噸
紀洋丸	同	一七、二〇〇噸
靜洋丸	同	一四、〇〇〇噸

各寄港地及各國樞要都市に代理店の設置あれば船室保留並に發着日割等は最寄に就て御問合せを乞ふ

ギヨン夫人傳

森田松榮

回心といふが、或人のは大層長くかゝり、割合に急激で不意の樣に思はれる。然し不、急激と思はれる回心は果して、その外見のが、否かくの如きものさへも、多くの場い準備が暗々裡にあるものである。努力はせられ、決心は度々敗戰を味ひ、痛悔の涙歡樂とは交々相往來し、世に死して、神になく、神に在る生を全く得るに至る迄、我し、失望し、涕泣するの苦い經驗を味ふこある。然しこの經驗はまた我らに忍耐と希へるものである。われらは其らの一段々々め、歩み渡つて、遂に聖座へつゞく梯子をに至るのではなからうか。曲線は直線よりとかや。紅海を渡つたイスラエルは、蜜とカナンへ入る前、四十年を荒野に過した。

神の選民がつぶさに艱難を嘗めたのも此處であつた荒野に放浪せるが如かりし信仰狀態のギヨン夫人に信仰上の助けとなつたものが、前の流刑の婦人の外にもう一人出來た。それは外國傳道に東洋へ行つていた從兄のトイシ卿が宣教團に用務の爲歸國したからであつた。

かねてから心ひそかに尊敬してゐた、熱信敬虔にしてはやくも外國傳道に身を捧げた從兄の歸國をきくと、夫人は大喜びで逢ふ日を待ち兼ねてゐた。夫人は自己の信仰の狀態をあからさまに、從兄に告げて、正直に謙虚にその助言を求めた。才藝、地位、富、美貌に滿足を感ぜず、神に一切を求めやうと努めてゐる、純にして熱心な婦人を自己の一門の中に見出したこの青年傳道者は、どんなに嬉しかつたことであらう。トイシ卿は熱心に彼女を鼓舞した。彼

烈深大な印象を與へた。卿が出發した時は夫
常に失望した。彼女は努力復努力、一向に專
の信仰生活にならはふとしたけれども信仰に
のみ赦され義とされるといふことをまだ經驗
つた彼女には、眞の救の實驗がなかつた。私
つ丈の力を盡してゐるのに、あゝこれも徒勞
膽する經驗を重ねてゐた。救ひの饗應の務め
彼女を待ち給ふたけれど、彼女にはそれが見
つた。
フランシスカン派の高僧で「世の中の興味に
は根の絶へた、而も世の益の爲には燃えたつ
もつてゐた」人が夫人の父を訪づれたことが
。父の健康の爲、又自分の休養の爲父の許に
た夫人は、父に勸められて親戚の人と共にこ
邸を訪づれた。夫人が自分の信仰狀態に就ての

と汝を求めつゝ、なほも汝をば見出でまつら

斐がなかつたのです。あなたの心に神を求める様な
習慣をおつけなさい。さうすれば神を見出し外しは
なさいますまい」
これは夫人に新らしい言葉ではなかつた。然し今
迄はかう言葉の眞諦に達するほど心が熟してはゐな
かつた。花が自然に開く様に夫人の靈眼は今開いた
夫人はいふ。
「此等の語は我を寸斷する槍の如く思はれたり。我
は此時神の愛に深き傷手を負ひしを覺えぬ——決し
て癒さるゝことなき様にとわが願ひしばかりいと嬉
しき傷手なりき。此らの語は幾年月わが求めをりし
ことを我心に齎せり……ああ我主よ汝は我心の中に
ゐ給ひしなり。我に汝の臨在を悟らしめん爲に、我
心の内へわがむくをのみ要求し給ひしなり。ああ窮
りなきの善よ、汝はかくも近くゐ給ひしを、我は此

また様々なる個々の點に於て、願望と懇請との一致

汝を求めつゝ　なほも汝をば見出でまつら
り。……我は財寶の眞中にありて貧しく、不斷の饗應の務にありて飢ゑ死ぬ斗りなあ昔今在す神よ！　如何なればわが汝を知ことのかくは遲かりし。悲しくも我は汝のる所に汝を求め、汝の在す所に汝を求めざ。そは汝の聖句を理解しをらざりし故なりはあらはれて來るものにあらず。此に見よといふべきものにも非ず。神の國は汝らの「我今聖句を經驗せり。汝わが王となり給は汝の王國となり、其所に汝は君主としてひ、聖旨をことごとくなし給へばなり」の魂の窓はあいて、輝く朝の光を歡喜と感との中にうけた。朝の清純な空氣のやうな力と感情とが彼女のうちに漲つた。

夫人に云はせやう。

神との契合一致は種々なる點に散在し得べまた様々なる個々の點に於て、願望と感情との一致もあらん。然れども最も大切最も完全なる一致は人と神との意志の一致なり。フランシスカン派のかの高僧が神に對する夫人の感情を尋ねたところ其答に「私は人がその戀人を深く愛するにもまさつて神を愛し奉ります。私は他に云ひ表し樣がありませんから、この比較をかりて説明致しますがこれでも眞實其物をあらはすことはできないものでございます。」

神との新らしい關係は、また萬物との新らしい關係となつた。「以前は神よりはなれをるものとして、我は物をば輕蔑したりしが、今は一切をば神との一致に於て見たり。我は太陽の光線が太陽よりはなれて存在せず、太陽の生命の光によりて生きかつ輝けると等しく、被創物を其源泉なる神より離すことを得ざりき」

是は夫人が滿二十歳に達した斗りの時であつた。

ール女學校を卒業され、其後倫敦に渡り、爾來ウエストフ
ト　カレッヂにて御勉學中。

はスウオニックの學生基督敎同盟の修養會に
す事が出來ました。七月九日の朝小さな手提
つ持つて聖パンクラス停車場に馳せ付けまし
レッヂの友達三人の他にも行くらしい人達が
ラットホームに待つて居りました。汽車に乘
ら私共は會から送つて來た小さな白い札に各
、大學、カレッヂ、專修科目などを書き入れて
けましたので、漸く同じ車に居る人達が誰と
ました。會場は停車場から一哩ばかりの處で
す。青々と茂つた木が日に輝いて、大きな薔
つて居る庭に入りました時には「まあ」と云は
はございませんでした。私共倫敦から參りま
は、草原に牛や馬の居る事が殊に嬉しく、「二
りで牛を見たのよ」などゝ云つて居た人も御
寄宿舍も亦別になつて居ります。本館は食

座いました。倫敦幹事のミス、モーバレーはこの
お會ひした事もありますので「好くいらつしつ
事」とおつしやいました時には知らない方許の中
來た事など忘れて喜びました。「こちらに來て食
購買券をお渡しください」と何誰かゞおつしやるの
就て會場に入りました。フードカードは御存
御座いませうが、一週間宛一定の分量の肉、バタ
砂糖を買ふ樣に出來ましたので、何處に行くので
持つて參りませんと何も買ふ事が出來ないので御
います。一月に始めて出ました頃は、何だかそれ
お金の代りになる樣な氣がして買物に行つて、品
と引替へに小さな切符だけ出して、賣子にお金の
促をされたなど云ふ滑稽も時々御座いましたが、
頃は皆馴れました。そのうちにお茶のカードも出
るさうで御座います。
會場は五百人許入れる建物で本館から離れて居
五分からエヂンバラのケネデー博士の哥林多前書

寄宿舎で別々になつて居ります。本館は食室の他に寢室は極數も少う御座いますが、は二百人泊りました。英國の學生修養會はで開催されます。戰爭前には寄宿舎に入れ程學生が參り、男子は草原にテントを張つを過したそうで御座いますが、唯今は極少これも主に外國人)は皆女學生で御座いますに參つた學生二百人以上の者が一齊に聲を美歌を唱ひました時には、本當に何とも云い心持が致しました。翌日からお天氣が變が、二ヶ月間殆んど一滴も雨の降りませんの事とて反つて感謝致しました。

朝食の後九時十五分から祈禱が御座います聖書研究の人達は「聖書の背面」と云ふ講義傳道研究の人達は「初代人類の宗敎」と云ふひました。私は聖書研究に參りましたが、白い講演で、終りになるのが殘念の樣で御

五分からエヂンバラのケネデー博士の哥林多前書の研究が御座いました、今迄氣の付きませんでした點を新しく敎へられました。殊に聖パウロの溢るゝ樣な傳道の熱心に感じました。夜は八時十五分から夕陽會で一同集りました。一夜は總幹事が「恐怖の心」と云ふ題でお話になりましたが、基督敎と云ふものは私の考へて居たよりもつと〳〵偉大なものだと云ふ事が解りました。本當に世間を見ると所謂基督敎信者は如何に種々なる改革を恐れて居るかに氣が付きます。基督敎も割に卑怯なものだと云ふ人のあるのも餘り無理でないのでは御座いますまいが實際所謂基督者でない人の中に美しい勇氣ある實行と、熱誠とを見る事が多く御座います。然しよく〳〵考へて見ますと眞の基督敎は私の考の及ばない程活氣に滿ち溢れたものではなからうかと氣が付きましたイエス程何ものをも恐れなかつた方は御座いません彼程生命に滿ちた方は御座いません。彼の御命令に

昨日から大攻擊が始りましたさうで心配で御

誕生日

袖山愛子

ニカ女子大學の寄宿舍に勉學中のゲン、フェは周章しく勉强室の戶を開けながら、早くお支度なさい、大切な時間を大方三分費して、外出簿に印を押して頂いてから正確十五秒經過て仕舞つた」の後六人の女學生は互に腕を組みながら校舍るうね〳〵した校庭の道を步いて去つた。はゲンの誕生日で彼女は步きながら繰返し繰日の午後にするべき事の順序書を讀み上げてにきかせてゐた。先づ六時迄に買物を濟まし五分に自働車が迎に來る、七時に夕食に着き

其家中の寵兒で今年三歲になる女兒は、お姉

八時卅分に男兒の友達が來るといふのだつた。

五時になつた時買物に出掛けた連中は疲れ切つて仕舞つた、其もその筈一軒〳〵店を見て步いて一階から七階迄も上つたり下りたりしたのですもの、終にゲンは氷菓子を飲んで凉まふと云ひ出した。誰も異議のあらう筈はなく普通の氷菓子よりは胡桃入りのがいゝし、其後ではきつと何か欲しくなるから御菓子も結構であつた。

六時にお約束の自働車が迎に來た、お母さんのお志の菓子箱は自働車の中で彼女を待つて居た。

やがて自働車はゲン、フエントンの家の玄關に着

矢張ゲンの妹と同年で三歲である。

からお歸りになるといふので一時も早くおを見樣と顏を一生懸命に窓硝子に押し付けで彼女の鼻はペシャンと平くなつて見えた赤い腰帶の付いたクリーム色の服を着て全女神もかくやと思はるゝ程であつた。黄金房々と額にかゝつたクリ／＼と圓く肥えたは深き笑靨があり、星の樣な目は早くもお脇に抱えたお土產の箱にそゝがれて輝いて

食卓に着いた時にゲンのお皿の上には誕生の手紙が一杯に盛られてあつた。今日は誕故何の遠慮もなく直にお讀みなさいといふ言葉に先づゲンが手に取上げたのは白義耳黒枠の付いたのであつた。差出人はマガレネーといつてゲンがお母樣と共に歐洲に旅に一夏を其人の家族と共に暮してお友達と人である。マガレットはゲンと同年で妹も

[illegible]ゲンの妹と同年で三歳である。

一言も口をきく事を恐れてゲンの顏を熟視て居た女生徒達はゲンが微かな溜息を吐き、其眼には涙を一杯溜めて居るのを見ました。靜かに手紙から眼を放したゲンは一同に向ひ物思ひに沈んだ調子で

「皆樣、私共は今日幾程お金を費つたでせうか？氷菓子とお菓子が一弗十五仙で、幾人カーラーをお買になりましたか。

「三人が買ひました。一ッが一弗五十仙宛で。夜會服を着た時に穿かふと思つて皆が絹の靴下を二足宛買ひました、一足が一弗宛で」アンゼラが答へた、

「お母樣が下すつた御菓子の箱が一弗のですから若しも私共が必要品以外に買はなかつたならば十七弗五十仙丈け儉約が出來るのでした、サア此手紙を讀みますから皆樣聞いて下さい」

親愛なるゲン樣へ

貴女樣の御誕生日に際し一筆示し上げ候、御誕生日の御手紙によき御報知も出來ざる事を實に殘念に

母親は已が子に對しては實に奇績と思はるも爲すと承り居り候故私は一夜中母の代しは如何にせば宜しからんと考へ明す事も屢候、申すも御愧しき事ながらアレキシスは餓し居り候て貴女樣よりよく褒められたる笑靨果て頰骨は高く顋はるなり肋骨さへも數へ得迄に瘠せ衰ろへ申候、嘗てはクリ〳〵と肥り手指も只今は烏の爪の如くに細り果て候を見は如何ともする力なく只傍觀するのみに御座レキシスの食物としては一日に堅パン三切をみに御座候、私の食物として最早何にも得ら狀態に陷り、若し私事の命を終る樣の事あり誰がアレキシスの面倒を見るべきや、思へばも死なれぬ場合と相成申候、彼女は非常に大決してむづかりもせず、父樣の樣な强い人

ど皆々非常の同情は表はし呉れ候も、皆一樣にアレキシスの樣な狀態に陷れる者は三百人以上もある由申居候、もう少し金を得るに非ざれば此上は只一人の子供さへも入院させる事は不可能なりと申居り候今夜こそ私は如何にも忍び難く相成、御知らせするは魂の忍びざる處、且つ友に食を願ふなど丶いふ事は恐ろしき事とは存じ候へども此儘になしおく時はアレキシスは見殺にする外はなく、こは如何にも忍びざる事に候故斯くは御願ひ致すものに御座候、子供の命を繫ぐに用する金は一日に僅に八仙に御座候何時かは白耳義にも金の出來る時節も來らんかと存じ、其節は貴女樣にも御返却するを得る事と存じ候

玆まで讀んでゲンは止めました、そして靜かに、

「ア丶十七弗五十仙、喰べて仕舞つた氷菓子や菓子は今更返す事も出來ないが、私自身として買つて來

ドと襟を明日早速返しに行かせませう。

は皆默つて仕舞つた。夕食の樂は全く消えたのでした、ゲンは鳥料理にも菓子にも手氣になれなかつた。

校の寄宿舍に歸つた時に處々の部屋から皆に來て誕生日の贈物をゲンの手に渡しましは皆不思議な感に打たれたのでした。

の二三日後に他の生徒の好奇心は益々高ま、ゲンの部屋の眞中に小さな白耳義の銀行た家が卓子の上に据えられた、戸の處にはして居る小兒が床の上に横はつて居る寫眞けてあつた、後の壁には「此寫眞は此子供を受けて再び寫眞を撮る時まで保存さるべり」と書いてあつた。

暮には模型でない眞個の白耳義の銀行のあ子供の最近の寫眞を見様と集まつて來る生々賑はつた、銀行に集まつた金はアレキシ就に再三送金されたのでした。（終）

○佐藤りウ子姉。　米國ブリンマー、カレヂにて學力優等として名聲高かりし同女史は、卒業後一ケ年を研究に送り、九月上旬歸朝せられ、目下東京聖坂フレンド女學校に奉職

○受洗者。　仙臺修養會にて決心されし阿部エイ子姉、勝部姉は同市日本基督教會にて受洗。

○山崎文子姉。　男兒御分娩母子共に御健全の由。

○大森端子姉。　御主人御榮轉にて、今回沖繩より横濱に移つらる。

○宗像正子姉。　夏期中九州又東北地方に御親戚を訪問され、御主人御病氣御看護等に忙しき日を送られし由。

○鈴木ふじ子姉。　御主人の任地なる大連に赴かる。

○村上いち子姉。　上海基督教會より御主人招聘せられしに付、共に任地に赴かる。

○新幹事來朝。　ミス、ダンニング。ミス、チェーンバース。ミス、ウヲルトン。ミス、ヴエリーの幹事九月十五日米國より來朝せらる。

友垣【二】

在米國　齋藤みどり

上陸致しましてから最早昨日で一週間になりました。見るもの聞くもの皆珍らしいので驚いた間に時は段々經つて居ります、まだ一週間にしかなりませんのに、もう餘程前から住んで居る樣な氣で居りますのもおかしう御座いますが、皆樣が御親切にして下さいます

日は日本人女子青年會に泊めて頂きました、野田夫人やと呑氣に日本の様な氣で過しました、食事も三度共日本食いますので外に出ませんと此處が米國であるなどは忘れが御座いました、翌晩渡米者の世話をなさるミスエリススがお訪ね下さいました時は、涙が出る程うれしう御座今は青年會幹事ミスハラーにお伴してミスペーヂをお訪た、ミスペーヂが私の買物をして下さいました。又修養て行くとかおつしやいました。お友達になりました方々い方達なので毎日甲板に出ては語り共に唱ひなどしましの日本婦人は餘り感心した方では御座いませんので努めの様に致して居りましたが、ミスハートが時々私共の室さいました時に男子が居たり又その方が煙草など吸つて恥かしう御座いました、後に桑港の新聞で「天洋丸一等とて此度の天洋丸の日本人の事が書いて御座いましたの、此等の事が記載されたのであらうと、云ひ知れぬ恥とく感じました。こんな事で日本人が誤解を招くのはつま存じます。私共が海外に參りましては、一人々々が日本居る事をつく〲感ぜられ、愚かなる事は出來ないと思の新聞や私の室の方の事は私にとりまして誠に神様のよ御座いました。アッテルマと云ふ所にあるさうて學生のて御座います。神戸と仙臺の方は如何で御座いましたかかつた事が思ひ出されます。（七月卅一日出の通信）

ツ（大正七ノ六—八ノ五）　マ　キ　ム（大正七ノ七—八ノ六）

金拾圓也　横川とよの氏

金拾圓也　横川とよの

西比利亞事業の爲め

本部事業負擔金

金拾圓也　横濱女子青年會

會費

金壹圓也

山田滋子（大正七ノ十—八ノ九）　竹中久（大正七ノ三—八ノ二）

イカーデナー（大正七ノ七—八ノ六）　三谷民子（大正七ノ三—八ノ二）

金壹圓貳拾錢也

牧野勝惠（大正七ノ九—八ノ八）　村上琴子（大正六ノ十一—七ノ十）

三宅キク（大正七ノ五—八ノ四）　綾ギン（大正七ノ五—八ノ四）

久米千代（大正七ノ五—八ノ四）　仁井ハルエ（大正七ノ五—八ノ四）

金壹圓五拾錢也　井關よし（大正七ノ九—八ノ八）

金貳圓也

エフガーデナー（大正七ノ七—八ノ六）　アンプルスタ（大正七ノ八—八ノ七）

シヤパード（大正七ノ六—八ノ五）　ミセスルーミス（大正七ノ五—八ノ四）

クラノルーミス（大正七ノ五—八ノ四）　阪口喜代（大正六ノ十二—八ノ十一）

山田千代（大正七ノ二—八ノ一）　井深花子（大正七ノ五—八ノ四）

金參圓也　ダニング（大正七ノ九—八ノ八）

金五圓也

大正七ノ八―入ノ七）多木　有機（大正七ノ三―八ノ二）
鈴木　歌子（大正六ノ九―七ノ八）
也
（大正七ノ三―入ノ四）グリーソン（大正六ノ七―七ノ六）
代
蘇　貞子（大正七ノ六月分）
本藤　冷劍（大正七ノ入―八ノ入）

大正七ノ十―八ノ九）大村　澄（大正七ノ九―入ノ八）
大正七ノ十―入ノ九）安藤　とよ（大正七ノ九―八ノ入）
大正七ノ十―八ノ九）鈴木　とく（大正七ノ十―八ノ九）
大正七ノ九―八ノ八）清流女學校（大正七ノ二―入ノ一）
也
廣島女學校青年會（大正七ノ六七月分其他）
四錢也
横濱女子青年會（大正七ノ七ト入月分）

…界」定價及廣告料

地　海外
八錢　金拾壹錢
拾錢　金壹圓貳拾錢
回揭載
拾錢　四分一頁　金五圓
圓　全頁　金拾五圓
…回數により割引有

大正七年九月廿八日印刷納本
大正七年十月一日發行

發行所　神田區北神保町十四番地
日本基督教女子青年會
電話本局五九八番
振替東京二三七二三番

發行兼編輯人　河井道子
神田區北神保町十四番地

印刷人　前川吉次郎
芝區三田和泉町七番地

印刷所　右同　三成舍

英語生徒募集

●午後の部（三時半より四時半まで）

初等科
普通科
高等科
各一週三時間

○月謝一ヶ月壹圓五拾錢


●夜の部（七時より八時まで）

初等科
普通科
各一週二時間

○月謝一ヶ月壹圓

教師

ミセス　エルイン
ミス　ダニング
渡邊百合子
寺内ぶん子
中西司娜子


東京銀座
合資會社
山野樂器店
電話 京橋 一〇五二番 三二九八番

Baby's Requirements – Elisabeth Robinson Şcovil .55–.0
Bible Sţory – William Canton 4.15–.1
Bible Stories for Little Children in Words of One Syllable – Jean S. Remy 1.10–.0
Boys in Patriarchal Homes – Dorothy Donnell Calhoun .60 - .0
Care of the Expectant Mother during Pregnacy and Chilbirth, 1918 – W. Lewis Howe 1.10–.08
Complete Club Book for Women – Caroline French Benton 3.00–.1
Friendship and Happiness:a Pla for the Feast ot St. Friend – Arnold Bennett .70–.08
Good Shepherd:a Life of Christ for Children .35–.06
How to Tell a Story and Other Essays – Mark Twain 3.85–.12
Marriage – Jalia Seton 1.10–.06
One Girl's Inflnence:a Memorial of Louise Stockton Andrews – Robert Speer 1.35–.08
Parables of Our Lord, Illustrated 1.10–.08
Perfect Boyhood : Vital Information for Young Boys – T. W. Shannon .60–.06
Perfect Girlhood : Vital Information for Yonng Girls – T. W. Shannon .60–.06
Perfect Womanhood : Vital Information for Young Women – T. W. Shannon .70–.06
Preparation for Motherhood – E. Robinson Scovil 2.20–.12
Stories to Tell to Children. Fifty – Four Stories with Some Suggestions for Telling, 1917 – Sara Cone Bryant 1,65–.12
Story of Jesus told for Little Children in Words of One Syllable – Jean S. Remy 1.10–.08
Story of Young Benjamin Franklin, 1916 – Weyne Whipple 2.20–.12
Story of Yonng George Washington, 1916 – Wayne Whipple 2.20–.12
Uncle Jim's Bible Stories, Illnstrated – Hartwell James 1.65–.08
What Women Should Know : a Woman's Book about Women – E. B. Duffey 1.10–.12
What a Young Girl Ought to Know–Mrs. Mary Wood– Allen 1.20–.08
Wdat a Young Wife Ought to Know – Mrs. Emma F, Angell Drake 2.20–.08
Wonderful Stories from the Wonderful Book for Young and Old – C. M. Stevens 2.75–.12
Woman's Clnb Work and Programs or First Aid to Club Women – Caroline French Bentou 3.00–.12

Bible School; and Mrs. Ume Kira, a leading member
Kumochi church, gives her full time to the work.

Since writing the above the National Committee has special meeting and after careful consideration it has been d that the time has come when Japanese women should do so finite piece of work in Vladivostock and that representative the association should be sent as soon as possible.

A letter from Miss Matthew dated September 21st h reached us. She says: "We are going on distributing foo week to the families that are in great need, and we are getting for them as fast as we can. Some of them live in barracks the city about three miles and others live in corners all o city. Even for these corners they must pay so much re almost all they can earn goes for this. We give food, problem of clothes and shoes and of schools for the children, medical attendance and places to put sick people in is simply ling to me at times. When the cold weather comes we sha a lot of sickness of course. We are trying to find three pla distributing milk, one in the centre of the city, and one at ea Also we want to give out hot soup at these places.

"Now about clothes. We are making out a list of thing got in Japan, like knit underclothes and stockings, and mater undergarments and dresses. These Mrs. Payne will order a will have the refugee women make as much of them as p This will earn money for them, and teach them things at th time. And now in addition to the requests for toys that I you the first week after I came, comes the request for thin Japanese girls can make. We want little white aprons for children up to ten years. We will send you some samples the kind of thing that is worn here, and these can be copied. we want babies' caps knitted, and socks, and children's sw mufflers, mittens, and children's caps. These I think our asso girls will love to make don't you and in addition to the plain that the mothers will make for their children here I thoug we might ask some of the Fujin Kwai to make little toch dresses for best dresses for the little girls. Could this done by girls in Government Schools as well as by girls Y. W. C. A.? I am so happy to think of our girls and having something very practical to do for the girls and wome here, for I know just how they will love it and I think ahead to what it will mean to the people here to realize t women of Japan can understand and feel for the women and c of another country. It is strange to ne to realize how little here do understand Japauese people, although the countries near to each other. They say there is a great need for the zation of a Russian Y. W. C. A."

now on there will be a regular sewing club in the building on Tuesday afternoons. Some of the girls have already contributed money and materials to this work.

The kindergarten at Koishikawa has been discontinued in order to concentrate our efforts in Oji, where we wish to establish our settlement work. Mrs. Tamaru, a visiting nurse, is already in Oji and during the summer she visited a great many families and distributed tickets for cheap rice. She also helped the city authorities in selling the cheap rice.

Miss Kaufman, who is now general secretary, visited her family in Canada during the summer, and from October she will be in charge of the association with Miss Kato.

Yokohama Association.

Miss Haru Kuroda, formerly a teacher at the Maibara Girls' School has come to the Yokohama association to be its general secretary; and Miss Toshi Ueno, formerly a teacher in a Government Girls' School in the north, is to be one of our workers from October Miss Ueno resigned from her teaching position because of her Christian point of view. Our staff is greatly strengthened by the addition of these two workers.

Our dormitory has been enlarged and we are now able to accommodate business women and students as well as young women preparing to go to America. Our charge is Yen 15. a month for board and room.

Osaka Association.

Miss Koto Yamamoto, who has had considerable experience as a teacher, and in W. C. T. U. work, and who has been a great help to the Association this spring as a voluntary worker, has accepted the position of general secretary.

During the summer Miss Kushida lived at the Association and was responsible for the building. Miss Iguchi took charge of things during the day. Two of the association Sunday school teachers met with their little girls every Monday for Bible stories and games. On Fridays a group of girls from the central post office and from the telephone exchange met for a Bible class and good time.

The Promoting Committee which has been responsible for our beginnings will organize early in October, at which time permanent officers and Committee members will be elected.

Notice.

On account of the increase in the cost of paper and labor, it will be necessary for us to increase the price of our magazine to ten sen per copy and the subscription price to Yen 1. a year.

Kobe.

Miss Topping and Miss Nixon have gone to Kobe and their address is 10 Kagoike dori, 7 chome. Active association work will

(JOSHI SEINEN KAI)

Volume XV October, 1918 Nu

The regular meeting of the National Committee will be the national headquarters on October 12th at 2 p.m.

Miss Matthew, and Miss Fonda, our physical director, Vladivostock on September 2nd. They were sent by the Ja Chapter of the American Red Cross. Some Japanese new stated that they were sent by the Y. W. C. A., and from tha of view said that any Japanese organization that sent foreign its representatives showed a lack of respect for and confide Japanese women. We hope our friends will understand the Matthew and Miss Fonda were loaned by the Japanese Y. W to the American Red Cross at the request of the latter for a piece of work among refugee women in Siberia.

We have heard from Miss Matthew twice since she Vladivostock, and she said in part: "We have engaged two preters and will get one more, and yesterday Miss Fonda wi and Miss Field with the other started out to visit the families husbands names are in the card file. You see a lot of these were turned over to us by the Old Refugee Committee un Russian regime. When the Bolshevicks began to cut up, this mittee ceased to have any funds to work with and so turne people over to the American Red Cross. And then in addi these others have come in themselves. Some of the people w rather little about and we want to know what clothes they ne what they can do in the way of work. The reports that c yesterday were interesting—one group of girls and wome each put in R. 50. and started a sewing society, rented a roo are taking in sewing."

"Do ask our association girls to gather 5,000 toys, half f and half for girls, and about 300 rag dolls for babies. The be many other demands and I shall write to you from time to

Mrs. Payne, who is a member of the Yokohama Committ on the evening of the sixteenth for Vladivostock to see the si and find out what sort of clothes can be made in Japan to m needs of the refugee women and children.

Miss Crawford has gone to Kyoto to study the languag get acquainted with the city until Miss Page returns, when r association work will be begun.

We are glad to welcome Miss Hazel Verry, Miss Lillian bers, Miss Elizabeth Dunning and Miss Edna Walton to Japan. arrived on the Venezuela September 15th, and at once beg study of the language.

腸內の病原菌を死滅せしむる唯一の

整腸常備藥

ラクトスターゼ

長壽保命の要素と稱せられたる乳酸菌の製劑たる本品は腸內に繁殖する各種の病原菌を死滅せしむる作用あるのみならず、腸內の腐敗醱酵を制止し、下痢便祕等を豫防治癒せしむる効顯著なる爲め總ての腸疾患小兒の消化不良等に對し整腸藥として賞用せられつゝあり。

傳染病研究所に於て目黒氏の實驗報告に據ればコレラ菌は二分間、チフス菌赤痢菌は十分間に乳酸菌培養基にて死滅することを證せられたり。

▲粉末錠劑の二種あり、各地藥舖に販賣す、實驗報告あり贈呈す。

脚氣に賞用せらる、「

オリザニン

」

本邦蛋白化學の泰斗鈴木博士創製の本品は貴重なる新營養劑にして、白米食に因する營養不給殊に脚氣樣症狀に賞用せらる鈴木博士其他の實驗報告を綜合するに食品中本劑の成分を缺除せんか漸次營養不良となり遂に倒死する事實を動物試驗に依り實證せられたり。

故にオリザニンは營養劑として脚氣、小兒の營養不給、食慾不振、產前產後及病中病後等の營養劑として好適する事を確證せらる。

▲液劑百瓦入、越幾斯劑四十五瓦入の二種あり

▲實驗報告書御申越次第贈呈す

東京室町

三共株式會社

三越の十月

[illegible]陳列　□一日より十日迄

寄裂見切反物賣出し　□一日より……

家具新製品陳列　□五日より十五日迄

美術家協會展覽會　□十五日より十九日迄

ホトヽギス社同人主催
俳畫展覽會　□廿三日より廿七日迄

三越呉服店